



・Call

第60号

2014年(平成26年)6月

い・Callとは、
イコール(平等)を意味しており、
『い』には「意見・意志のある人達
が」、『Call』には「呼びかけあって、
男女共同参画社会をつくりあげよ
う」という思いが込められています

● もくじ ●

◎1ページ

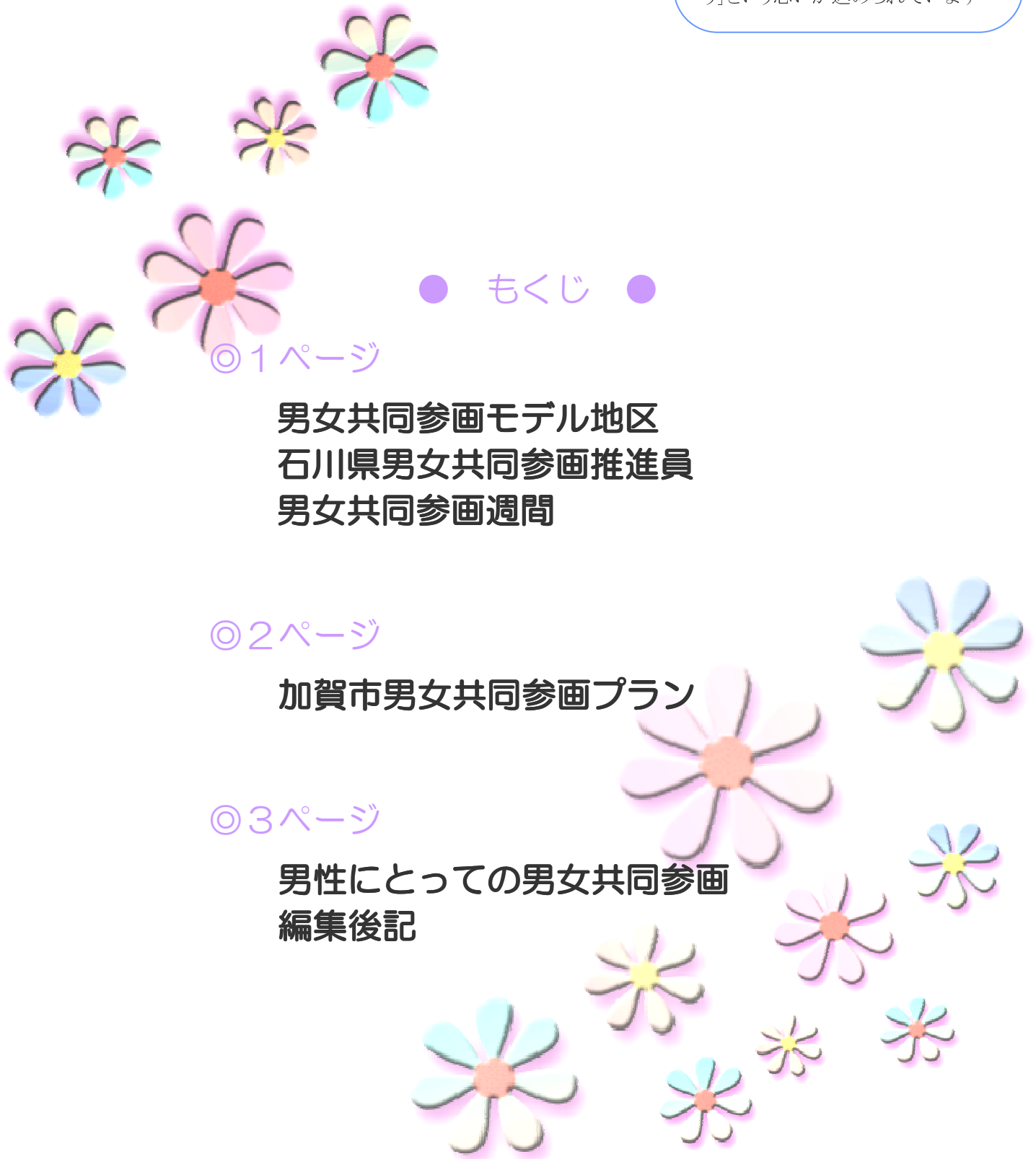
男女共同参画モデル地区
石川県男女共同参画推進員
男女共同参画週間

◎2ページ

加賀市男女共同参画プラン

◎3ページ

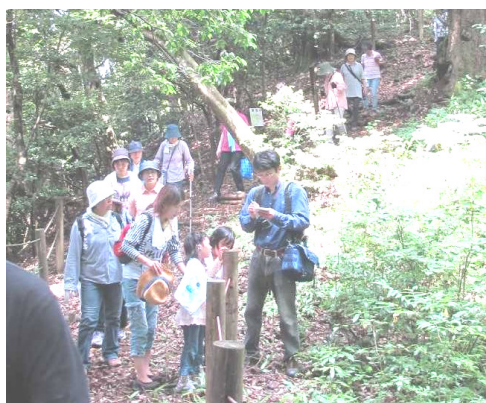
男性にとっての男女共同参画
編集後記



平成 26 年度 男女共同参画モデル地区は 『東谷口地区』です

今年度は「東谷口地区」が「男女共同参画」を推進します。

男女共同参画に関する講座やワークショップなど自主的な事業や積極的な取り組みを行い、男女共同参画推進のための意識改革を図っていきます。



昨年のモデル地区事業「健康ハイキング」

石川県 男女共同参画推進員

石川県が行う施策等の啓発や普及活動を行っていきます。



山代地区：
南出貞子さん

河南地区：
新家尚子さん

西谷地区：
島 實穂子さん

片山津地区：中島ひらみさん

作見地区：西山佳孝さん

大聖寺地区：杉山佳津也さん

以上 6 名の推進員の方と、男女共同参画を推進していきます。

男女共同参画週間 6月23日(月)~29日(日)

今年度キャッチフレーズは
「家事場の**パパ**チカラ」に
決定しました。

「男女共同参画社会」の実現には、様々な制度の改革と併せて「企業人としての男性」や、家庭での働く女性のパートナーである「家庭人としての男性」など、男性の意識・行動も重要であることから、男性が、企業人としても家庭人としても豊かな生活をおく
るために、女性と共に家事・育児・介護・地域活動に積極的に関わっていくことを重点としています。



私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか？

加賀市 男女共同参画プラン (加賀市男女共同参画行動計画) 平成26年度～30年度を 策定しました

皆さんは「加賀市男女共同参画プラン（加賀市男女共同参画行動計画）」をご存じですか。



加賀市では、男女共同参画社会の実現を目指して、平成10年に「加賀市男女共生プラン」、平成16年に「加賀市男女共同参画プラン」を策定し、

平成21年に見直しをして諸施策を積極的に推進してきました。

今回、5年の歳月に変化した現状や将来に対して対応できるよう、改定しました。主な改定部分は次のとおりです。

基本的視点

の内容を見直しました

- ◆ワーク・ライフ・バランスの推進
「仕事・子育て・老親の介護」との両立に悩むなど、心身の疲労からの健康を害さないために必須。
- ◆事業所に対する積極的な働きかけ
モデル事業所の指定など、事業所における取組の推進。

基本目標Ⅲ 多様な生き方が出来る社会の実現

の中に次の課題を
新たに盛り込みました

- ◆男性にとっての男女共同参画の推進
ワーク・ライフ・バランスの実現には企業の協力が必要不可欠であり、特に、男性を取り巻く職場環境の改善が必要。
- ◆貧困などの生活上の困難に直面する男女への支援
単身世帯やひとり親世帯の増加、雇用・就業構造の変化などの中で、貧困など生活上の困難に直面する人々を支援する施策の推進が必要。



今後も、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、個性と能力を発揮することのできる男女共同参画社会の形成をめざし、啓発に取り組んでいきます。



男女共同参画プランは
加賀市ホームページで
見るすることができます。

加賀市ホームページ・トップ >
テーマから探す「男女共同参画」 >
男女共同参画プラン

男性にとっての 男女共同参画

内閣府男女共同参画局ホームページより抜粋

男女共同参画というと多くの方が、「それは女性のためのもの」と感じるかもしれませんが、男性にとっても重要な問題だと思えます。

例えば、こんな経験はないでしょうか。

- 育児休業を取りたくても「奥さんがいるのに何で君が？」と取れなかった
- 「男は弱音を吐くべきでない」との思いから、悩み事を相談できずにいた



「男は仕事・女は家庭」等のように性別を理由として役割を固定的に分ける考え方のことを「固定的性別役割分担意識」と呼んでいます。女性が「固定的性別役割分担意識」によって社会進出を阻まれてきた、ということはよく言われていますが、男性も「男は仕事」、「男は強くなければならぬ」など、

性別による役割の固定化を受けてきたと言えます。



私たちのめざす男女共同参画社会とは、男性だから、女性だから、ということではなく、ともにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を發揮することができる社会です。



男性自身の、男性に関する「固定的性別役割分担意識」を解消できれば、男性がより暮らしやすくなる社会を築いていけるのではないのでしょうか。社会の変化に伴い、むしろ今は男性の視点で男女共同参画を見つめなおし、自分の働き方や家庭・地域での役割に生かしていくことが求められています。



編集後記

内閣府が定めた男女共同参画週間の趣旨は「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に發揮することができる男女共同参画社会の形成」とあります。何かとしんどい世の中ですが、多くの『喜び』を分かち合える社会になるといいですね。Ⓚ

発行

加賀市地域振興部まちづくり課
男女共同参画係

TEL 0761-72-7836

FAX 0761-72-7991

E-mail : danjo@city.kaga.lg.jp

い・Call は、加賀市ホームページに掲載しています。
加賀市ホームページ・トップ > テーマから探す「男女共同参画」